

# How to practice English

科目責任者 クリス スミス  
学年・学期 1 学年・1 学期

## I. 前 文

Despite studying English for a number of years, many students don't know how to practice. This course aims to change your thinking and approach to English. It will give you various ways to practice and improve your English skills.

何年も英語を勉強しているにもかかわらず、どのように練習すればいいのかわからないという生徒が多くいます。このコースは、英語に対する考え方やアプローチを変えることを目的としています。このコースでは、英語に対する考え方やアプローチを変えることを目的としています。

## II. 担当教員

Chris Smith

## III. 一般学習目標

1. How to think differently about English
2. How to find practice materials
3. How to practice speaking, listening, reading, and grammar
4. How to practice independently without a teacher
5. How to use AI tools to practice

## IV. 学修の到達目標

1. 英語に対する考え方を考える方法
2. 練習教材の探し方
3. スピーキング, リスニング, リーディング, 文法の練習方法
4. 教師なしで自主的に練習する方法
5. AIツールを使った練習方法

## V. 授業計画及び方法 \* ( ) 内はアクティブラーニングの番号と種類

(1: 反転授業の要素を含む授業 (知識習得の要素を教室外で済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態。)

2: ディスカッション, デイバート 3: グループワーク 4: 実習, フィールドワーク 5: プレゼンテーション  
6: その他)

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
1	4	24	水	5	Overview and introduction	クリス スミス	1,2,3
2	5	1	水	5	How to find materials	クリス スミス	1,2,3
3		8	水	5	How to practice listening	クリス スミス	1,2,3
4		15	水	5	How to practice reading	クリス スミス	1,2,3
5		22	水	5	How to practice grammar	クリス スミス	1,2,3

回数	月	日	曜日	時限	講 義 テ ー マ	担 当 者	アクティブ ラーニング
6	5	29	水	5	Using AI	クリス スミス	1,2,3
7	6	5	水	5	The ECL	クリス スミス	1,2,3

#### VI. 評価基準（成績評価の方法・基準）

Evaluation will be based on attendance and active participation.

評価は出席状況に応じて行われ、学習意欲も考慮されます。

#### VII. 教科書・参考図書・AV資料

No textbook is required for this course.

Materials will be provided.

テキストは必要ありません。

教材をご用意いたします。

#### VIII. 質問への対応方法

If you have any questions, you can find me at the following places :

Office - 5F Room 503-A (Tel : 2277)

ECL - During ECL hours

Email - csmith@dokkyomed.ac.jp

IX. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

\*◎：最も重点を置くDP    ○：重点を置くDP

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）		
医学知識	人体の構造と機能，種々の疾患の原因や病態などに関する正しい知識に基づいて臨床推論を行い，他者に説明することができる。	
	種々の疾患の診断や治療，予防について原理や特徴を含めて理解し，他者に説明することができる。	
臨床能力	卒後臨床研修において求められる診療技能を身に付け，正しく実践することができる。	
	医療安全や感染防止に配慮した診療を実践することができる。	
プロフェッショナリズム	医師としての良識と倫理観を身に付け，患者やその家族に対して誠意と思いやりのある医療を実践することができる。	
	医師としてのコミュニケーション能力と協調性を身に付け，患者やその家族，あるいは他の医療従事者と適切な人間関係を構築することができる。	
能動的学修能力	医師としての内発的モチベーションに基づいて自己研鑽や生涯学修に努めることができる。	○
	書籍や種々の資料，情報通信技術（ICT）などの利用法を理解し，自らの学修に活用することができる。	○
リサーチ・マインド	最新の医学情報や医療技術に関心を持ち，専門的議論に参加することができる。	
	自らも医学や医療の進歩に寄与しようとする意欲を持ち，実践することができる。	
社会的視野	保健医療行政の動向や医師に対する社会ニーズを理解し，自らの行動に反映させることができる。	
	医学や医療をグローバルな視点で捉える国際性を身に付け，自らの行動に反映させることができる。	◎
人間性	医師に求められる幅広い教養を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	○
	多様な価値観に対応できる豊かな人間性を身に付け，他者との関係においてそれを活かすことができる。	◎

X. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

授業時に行います。

XI. 求められる事前学習，事後学習およびそれに必要な時間

シラバス別冊に記載。

XII. コアカリ記号・番号

シラバス別冊に記載。